

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
祛湿剂 祛風勝湿剂 3		
かつこんかじゅつぶとう 葛根加朮附湯		葛根湯 + 白朮・附子
方機	<p>本方（葛根加朮附湯）は、葛根湯の適応症に寒湿を伴うものに用いる。即ち主に筋肉のこわばり、無汗などを伴う寒湿痺（疼痛、むくみ、冷えなど）に用いられる。</p> <p>本方（葛根加朮附湯）は、桂枝加朮附湯に葛根・麻黄を加えたものに相当する。</p> <p>葛根は筋のけいれんを緩解させ、特に項背部の筋緊張に効果がある。麻黄は発汗、利尿作用により浮腫を軽減させる。</p> <p>日本での保険適応効能、効果 悪寒発熱して、頭痛があり、項部、肩背部に緊張感あるものの次の諸症；肩こり、肩甲部の神経痛、上半身の関節リウマチ</p>	